

# 石高新聞

R 5年  
3月30日  
発行  
第77号

## 粘り強く挑むも3位

石高女子 &  
RED OX

～第4回三井アウトレットパーク北陸小矢部杯ホッケー大会～



↑鋭いドリブルでぎふの選手に挑む石動高校合同チームの田屋選手(12H・左)

3月26日、小矢部ホッケーフィールドで第4回三井アウトレットパーク北陸小矢部杯ホッケー大会が行われた。石動高校女子ホッケー部とRED OX J.R.I.E.S.の合同チームは、第1試合でぎふ朝日レディースと朝日大学の合同チームと対戦。0対1で惜しくも敗戦となった。選手らは最後まで粘り強く試合に臨み、チャンスの度に会場に歓声が沸き起こった。

### 互い見てプレー

試合を振り返って石動女子ホッケー部主将の松井杏さん(24H)は、「合同チームとして少ない練習時間の中、高校生なりのプレーはできた。リアンの選手の後ろからの指示で動きやすかった。勝てず悔しい気持ちはある」と思いを述べた。RED OXリアンの浦島涼子さんは、「地元でやらせてもらっているから負けるわけにはいかないという気持ち

でやっていたが、難しい試合になった。11人制のゲームと一緒にやるのが初めてだったが、高校生と社会人がお互いを見てプレーできた」と振り返った。

エキシビジョンマッチに参加した男子ホッケー部の宮田武瑠主将(24H)は、「シユート練習やドリブル練習やデイフェンスでしつこくプレーするよう頑張ってきた。次の公式戦ではもっとシユート力をつけて、点を取られても取り返したい」と真剣な眼差しで答えた。

### 盛り上がり に手ごたえ

合同チームコーチで石動女子監督の西永毅教諭は、「卒業生やトッププレーヤーと試合できて高校生も良い経験になったと思う」と微笑み、「3年ぶりの一般観覧。野球もサッカーも応援が盛り上がっているように、小矢部で盛り上がった大会ができてよかった」と手ごたえを述べた。